

Service News サービス・ニュース

【公立図書館初!】お持ち込みのパソコンやタブレットでどなたでも「OECD iLibrary」がご利用いただけます

提供期間 3月1日から1年間

ライブラリーアドレス ▶ [www.oecd-ilibrary.org](http://www.oecd-ilibrary.org)

OECD(経済協力開発機構)東京センターのご協力を得て、同機関とその姉妹機関(\*)が出版する報告書や統計書を閲覧できるオンライン・ライブラリー「OECD iLibrary」が当館でご利用できるようになりました。PDFデータのダウンロードも可能です。(主に英語、フランス語)詳しくは当館ホームページをご覧ください。

\*姉妹機関:国際エネルギー機構(IEA)、原子力機関(NEA)、国際運輸フォーラム(ITF)

館内貸出iPadにて「朝日新聞デジタル」をご利用できます \*貸出券をお持ちの方ならどなたでも

提供期間 3月31日まで

現在、図書フロアで提供している貸出用のiPad 3台で、「閲覧IIタブレット版」に加え、電子新聞「朝日新聞デジタル」もトライアルで閲覧いただけるようになりました。

◆千代田図書館企画展示 巡回展 「週刊読書人」の紙面でたどる記憶に残る本と時代



場所:2Fホール  
昨年55周年を迎えた書評紙「週刊読書人」編集部のご協力を得て、創刊から現在まで、人々の記憶に残る本とその書評記事、各時代のニュースを紹介しながら出版の歴史をたどります。本の思い出とともに楽しみください。

1958年から現在まで10年ごとに、時代を象徴するベストセラーと、各時代に流行した音楽や演劇、美術など当館ならではのアート・セレクションを加えて紹介します。 \*この展示は2013年11/25~1/25まで千代田図書館で行われていたものです。



『そして、僕はOEDを読んだ』  
アモン・シェイ著  
人生において、「辞書を読む」ことを何より愛する男が「オックスフォード英語辞典」(略称OED)全20巻を読み通した記録である。AからZまで29万1500語の中には、数百年もの間一度も使われていない単語もあれば、時代とともに意味が変化したものもある。膨大な言葉と向き合う至福の時間を共有させてくれる一冊だ。

三省堂 2010年  
独自の視点で解説された単語の数々は茶目ったぶり、生きる楽しみが伝わってくる。辞書愛ともいべきエッセイも秀逸。

3F ブルーゾーン 【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン



「解説で選ぶ本」  
本の巻末に、まるで読者への“おまけ”のようについている「解説」。読んでみると、作品や著者の“説明”として役に立つだけでなく、意外な人物による寄稿に別の魅力を発見することもあります。この展示では、普段注目されることの少ない「解説」にスポットを当て、本選びの新たな楽しみ方を提案しています。

- たとえばこんな本!  
解説:桂 枝雀 落語家を書く  
『ボディランゲージを読む』(野村雅一著,平凡社)
- 解説:戸川 純 女優も書く!  
『ハートに火をつけて!』(鈴木いづみ著,文遊社)
- 解説:大江 健三郎 作家が作家の解説を  
『海上の道』(柳田国男著,岩波書店)
- 解説:宮本 輝  
『わが人生の時の時』(石原慎太郎著,文藝春秋)



意外な人物による翻訳や書評にも目を向け、タイトルや著者名からではない、「第三者の視点」から選ぶ読書を紹介します。

3 Exhibit Information 月の展示情報 \*展示内容は変更する場合がございます。

- 2F オレンジゾーン 『物流×消費2014～モノの流れの明日を読む～』(～3月中旬) 国際的な課題と地域的な課題が交差する物流と消費について考えるための本を集めました。  
■「UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ欄-」  
■常設展示▶「アメリカンシェルフ」
- 2F ホール 「ハリー・ポッターと不思議の国のアリスのファンタジーの世界」  
■千代田図書館企画展示 巡回展▶「『週刊読書人』の紙面でたどる 記憶に残る本と時代」
- 2F パープルゾーン 「傍楽ことと生きること～江戸ユートピア」 江戸時代に日本を訪れた外国人から見たライフスタイルを中心に、19世紀のイギリスとの比較、江戸の行商人クイズなどを、楽しい絵、写真等を交えてご紹介。本当の江戸が見えてくる!!  
■常設展示▶「日比谷図書館の歴史」「太田道灌コーナー」
- 3F グリーンゾーン 「美しい終わり方」 意外にできていない「看取る側」の心構え。人生の最期について、送られる側だけでなく、見送る側の視点からも考える本を集めました。  
■「グリーン・イノベーション～環境と持続可能な社会の実現に向けて」

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



『The Wonderful Tea-Kettle』  
日本昔噺 第十六號「文福茶釜」  
第十七版 ジェイムス夫人訳  
(発行者/西宮興作1937年刊)

「ちりめん本」は、和紙に木版多色刷りに施したものを特殊な加工でしわを作り、布の縮緬のような手触り感をもたせた和綴り絵本です。この貴重な古書が千代田Web図書館で見られるようになりました。独特の紙の質感そのままに、ページをめくりながらお楽しみください。

「ちりめん本」を見るには  
日比谷図書館文化館ホームページ上の「Web図書館」をクリックすると、「千代田Web図書館」のホームページに繋がります。コンテンツ名に「ちりめん本」と入力すると一覧が表示され、ログイン不要で、どなたでも無料でご覧いただけます。

「ちりめん本」を見るには  
日比谷図書館文化館ホームページ上の「Web図書館」をクリックすると、「千代田Web図書館」のホームページに繋がります。コンテンツ名に「ちりめん本」と入力すると一覧が表示され、ログイン不要で、どなたでも無料でご覧いただけます。

千代田Web図書館で「ちりめん本」

外国語で書かれた日本昔話をお楽しみください

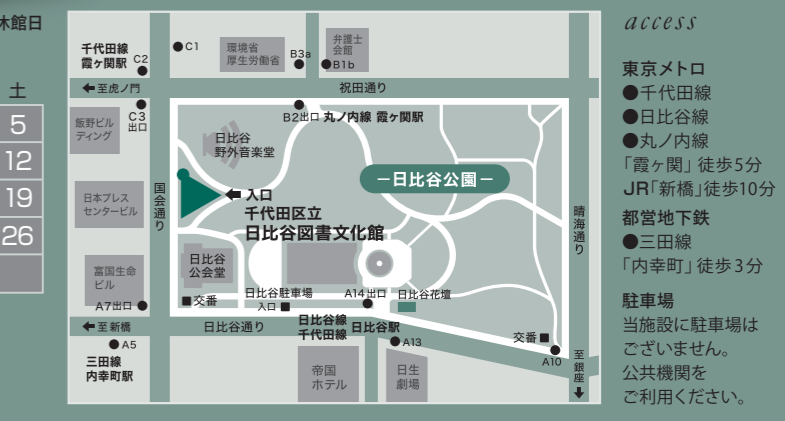
ちりめん本は長谷川武次郎の考案により、明治18年より弘文社から刊行され始めました。当館所蔵のものは『桃太郎』『因幡の白兔』『文福茶釜』など、おなじみの日本昔話が英語で書かれています。読み物として楽しむだけでなく、挿絵の美しい色彩にもご注目ください。(日比谷図書館蔵)

- 小泉八雲による日本昔話  
『Japanese fairy tale series』  
『THE OLD WOMAN WHO LOST HER DUMPLING』  
「団子をなくしたおばあさん」  
ラフカチオ・ヘルン訳  
(発行者/長谷川武次郎 1902年刊)
- 日本昔噺シリーズ  
『Japanese fairy tale series』  
『Momotaro or Little Peachling』  
日本昔噺 第一號「桃太郎」  
第十八版 タビド・タムソン訳  
(発行者/西宮興作 1940年刊)  
『The Hare of Inaba』  
日本昔噺 第十一號  
「因幡の白兔」第十七版  
(発行者/西宮興作1937年刊)

calendar 開館時間:平日10時～22時、土曜10時～19時、日祝10時～17時、休館日

2014年 3月							2014年 4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書館  
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340  
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:<http://hibiyal.jp>



# 3・4月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」本「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 3/14 (金) 日比谷コトづくり塾 第6回 「やりがい」を「生きがい」に その種を育てよう ～元気な若者は地域を元気にする～

講師：  
加留部 貴行（九州大学大学院統合新領域学府客員准教授）  
岡 幸二郎（俳優・九州大谷短期大学表現学科演劇放送フィールド非常勤教員）  
定野 司（足立区総務部長・足立区ビューティフルウィンドウズ運動推進本部長）  
岩田 勉（小学館レクリエーションリーダーズクラブ代表）  
納富 洋子（ラ・プレリージャパン(株)人事部IRマネージャー）

「日比谷コトづくり塾第6回」では、人材育成、特に「地域を元気にする若者」の育成に焦点をあてます。内容は基調講演とパネルディスカッション。パネラーは、様々なジャンルで「地域を元気にする若者」の育成に取り組まれている方々をお迎えします。コーディネーターは九州大学大学院客員准教授の加留部貴行氏。（主催：一般社団法人日本経営協会）

■日時：3月14日(金)13:30～16:30(13:00より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：60名 ■参加費：5250円



## 3/14 (金) データベース講座：The Sankei Archivesで産経新聞の記事検索とデータベースについて学ぶ

講師：石毛 紀行（株式会社産経デジタル）

オンラインデータベースThe Sankei Archivesでは、産経新聞の記事を検索することができます。この講座では新聞記事の検索方法だけでなく、データベースとインターネットでの検索との違いなどについても解説します。

■日時：3月14日(金)19:00～20:00(18:30より受付)  
■会場：3階 ライブラリープラス ■定員：10名 ■参加費：無料

## 3/14 (金) 千代田区民講座 地球を元気にする人々 ～平和を願う世界的著名人のポートレートと体験談～

講師：薄井 大暹（写真家）

ネルソン・マンデラ、ダライ・ラマ14世、マザー・テレサ、アウンサンスーチー、三浦雄一郎、ゴルバチョフ元大統領、など、激動に生きる世界的著名人を撮り続ける写真家 薄井大暹氏。被写体と直面して魂の動きを記録する芸術(ポートレート)について、さらにその視線の先にあるものについて熱く語っていただきます。（主催：神田雑学大学）

■日時：3月14日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
■定員：60名 ■参加費：無料



▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

## 3/16 (日) 世界の図書館シリーズ 第3回 「シンガポールを中心に東南アジアの図書館事情」

講師：宮原 志津子（相模女子大学講師）

シンガポールでは、図書館は情報や文化、生涯教育の拠点として、国家開発を担う一翼としての使命が与えられています。シンガポールの図書館改革の背景と改革後の状況を中心に、現地の大学での調査研究や、公共図書館の勤務経験を持つ講師が、東南アジアの図書館事情なども交えてお話しします。

■日時：3月16日(日)14:00～16:00(13:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

## 3/18 (火) 読書の醍醐味～プロフェッショナルの読書習慣～ 第3回 余白を読む

講師：黛 まどか（俳人）

世界で一番短い文学、俳句。省略することによって生まれる余白には、作者の感動や思想、美意識、情趣など様々なものが凝縮されています。読者は表現されたわずかな言葉を手掛かりにそれらを再生産し、句の核となる真理を探究しなくてはなりません。そんな俳句の世界で活躍する講師をお招きし、古今東西の名句をあげ、余白を読み解く楽しさを共に味わいます。（主催：公益財団法人上廣倫理財団）

■日時：3月18日(火)18:30～20:00(18:00より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)  
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。



## 3/20 (木) インターメディアテク×日比谷図書文化館 展覧会への入口講座 Vol.6 「JPタワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク」の施設づくり

講師：洪 恒夫（東京大学総合研究博物館特任教授）

知的好奇心を喚起させるミュージアムの力とそれを具現するための企画、制作サイドの思い、スキルなどについて、日本郵便と東京大学総合研究博物館の協働でJPタワー内に誕生したミュージアム「インターメディアテク」の構想から完成までのドキュメントを通じてお話しします。

■日時：3月20日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名  
■参加費：1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



## 3/27 (木) 「知」のパラダイス＝図書館は空想と創造の生産工場

講師：山根 一眞（ノンフィクション作家、獨協大学経済学部特任教授）

「図書館は今日も含めた歴史を後世に伝える「知のカプセル」だ。「ネット情報＝揮発情報」への依存過多時代だからこそ、図書館の価値はいっそう大きい。」ベストセラー『スーパー書齋の仕事術』はじめ数々の著作や「モバイルの開祖」として知られる山根一眞氏が図書館活用による知的生産方法を語ります。

■日時：3月27日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：150名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)  
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ちください。



## 3/29 (土) 小野耕世が語る、アメリカンコミックヒーローの誕生から現在

講師：小野 耕世（海外コミック研究家・翻訳家）

バットマン、スパイダーマンなど、映画でもおなじみのアメコミヒーローは、いかにして生まれ、どのような変遷を遂げてきたのでしょうか？海外コミック研究の第一人者である小野耕世氏に、独自の発展を遂げてきたアメリカンヒーローコミックの歴史とキャラクターの魅力について語って頂きます。

■日時：3月29日(土)13:00～15:00(12:30より受付)  
■会場：地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：1000円



## 4/8 (火) 第23回江戸歴史講座 歌川豊春没後200年 幕末浮世絵事情－歌川派の祖 歌川豊春とその門人たち

講師：小林 忠（岡田美術館館長、学習院大学名誉教授、国際浮世絵学会理事長）

幕末の浮世絵界は、歌川派の全盛期で、「歌川派にあらざれば浮世絵師にあらず」と言われたほどです。その歌川派の開祖歌川豊春は文化11年(1814年)に没しており、本年が没後200年に当たり、その記念の年に、豊春とその門人である豊国と豊広、孫弟子の国貞、国芳、広重らの画業を振り返ります。

■日時：4月8日(火)19:00～20:30(18:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)  
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



歌川豊春「浮世絵花天満天神夜祭之図」

## 4/8 (火) ほか グローバルビジネスパーソンになるための財務塾 IPO(Initial Public Offering: 株式公開)を理解しよう!

講師：手島 直樹（経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル(株)代表取締役）

アベノミクスによる市況の改善に合わせてIPOを行う企業増加に伴い、IPOをテーマに全2回の講座で取り上げます。第1回は投資家の視点からどのような企業がIPO後も企業価値を創造し続けているのかを分析し、第2回は企業経営者はいかに株式市場とつき合っていくべきか、米国のケースも取り上げながら考えます。

■日時：4月8日(火)第1回「日本のIPO市場を分析する」4月22日(火)第2回「ケーススタディでIPOを学ぶ」いずれも19:00～20:30(18:30より受付)  
■会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名 ■参加費：3000円(2回分)



## 4/11 (金) ハリー・ポッターと不思議の国のアリスが出逢ったら… 翻訳がつなぐ文化とことば

講師：松岡 佑子（静山社会長） 安井 泉（筑波大学名誉教授）

「ハリー・ポッター」を日本に紹介した翻訳者として、ルイス・キャロル協会会長でもあり「鏡の国のアリス」などを翻訳した英語学・言語文化学者に、翻訳して気づいた言葉の魅力や文化の奥深さについてお話しいただきながら、英語と日本語の「ことばを楽しむ」秘訣を探ります。

■日時：4月11日(金)19:00～21:00(18:30より受付)  
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員：200名 ■参加費：1000円



## 4/25 (金) ほか 日比谷オペラ塾 「作曲家でたどるオペラのあゆみ(後期)」(全6回) 第1回 イタリア・オペラの巨人 <ヴェルディ>

講師：小畑 恒夫（昭和音楽大学教授）

時代を代表するオペラ作曲家にスポットを当てながら、作品と作曲家について理解を深める、全6回の連続講演会。2013年10月から2014年3月までの前期に引き続き、4月より後期が始まります。第1回はイタリア・オペラの巨人と称されるヴェルディについて、お話しいただきます。初心者にも、オペラ愛好家にもご満足いただける内容です。（主催：フェニーチェ劇場友の会）

■日時：4月25日(金)19:00～20:30(18:30より受付)  
■会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名  
■参加費：6000円(6回分)、各回1500円  
<第2・3・4・5・6回予告>  
●5月15日(木) オペレッタの帝王<ヨハン・シュトラウス2世>小宮 正安(横浜国立大学准教授) ●6月19日(木) フランス・オペラの天才<ビゼー>岸 純信(オペラ研究者) ●7月18日(金) ロシア・オペラの巨匠<チャイコフスキー>一柳富美子(ロシア音楽学者) ●8月26日(火) オペラのヒットメーカー<プッチーニ>井内美香(音楽ジャーナリスト) ●9月22日(月) ドイツ・オペラの継承者<リヒャルト・シュトラウス>広瀬 大介(音楽評論家)



アトコヤ

古文書塾

古文書塾「アトコヤ」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。4月の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は右の通りです。まずは体験講座をお試ください。

4月開講  
受講生募集

- 体験講座：1000円
- 開催場所：日比谷図書文化館 4F セミナールーム

	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
入門コース (6ヶ月) 120分 全10回	古文書のいろは 筆字のくずし字	(火)10:10～ (木)13:30～ (木)18:30～	3/18 3/25 3/13 3/27 3/13 3/27
	いろはの次－大江戸大変－	(月)18:30～	3/31
	文人画と碑文－掛け軸を読む－	(月)18:30～	3/31
本科コース (6ヶ月) 120分 全10回	古文書に見る江戸の暮らし	(火)18:30～	3/18
	武家文書を読む－老中みる幕府官僚事情－	(水)13:30～	3/19
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金)18:30～	3/28
特別講座 (3ヶ月) 90分 全5回	浮世絵を読む	(月)15:00～	3/31
	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00～	3/25
	女性的手紙を読む－女手(おんなで)入門－	(水)19:00～	3/26
	くずし字で読み解く茶の湯の伝書	(木)13:30～	3/20
	江戸を楽しむ－天変地異を江戸の人々に学ぶ－	(木)18:30～	3/20
	江戸のサイエンス－和算・天文・測量の世界－	(金)13:30～	3/28
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30～	3/29
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土)14:00～	3/29

特別研究室企画展示 「近代日本を支えた江戸・明治の教養」第2部

開催中▶3月16日(日)

▲化学工業博覧会会場正門(「化学工業博覧会報告」)

Sh o p & C a f e

ライブラリー ショップ&カフェ

昨年夏にご好評いただいた「ビブリアフィリック」の商品がショップに帰ってきます！山羊の毛を使ったブックブラシや機能的で粋なデザインのブックサックに加え、気になる新商品も。本好きには見逃せないアイテムばかりです。是非ご覧ください。

「和魂洋才－明治時代の日本人が希求した新しい日本のための書物」

明治時代、近代化を目指した日本では、西洋の文化や科学技術を吸収しつつ、日本独自の教養の構築を目指す「和魂洋才」の流れがありました。やがてそれは「工業立国」実現のための原動力ともなり、1917(大正6)年秋には、内田嘉吉を会長に「化学工業博覧会」が開催されました。本展示では、特別研究室の蔵書から、近代日本の産業振興にも大きな役割を果たした教養書の数々を紹介いたします。

■お問合せ：特別研究室(03-3502-3340/内線429)

教えて! 図書館用語 【泣きわかれ】一般的には「泣きながら別れる」ことだが、図書館では、本来ともに書架に並ぶべき本が別に置かれた状態を指す俗語。例えば、上中下巻のうち1冊だけが別に配架されていたり、予約本が他の利用者の本として誤って予約棚にしている時などに使う。なかなか気づかないのがやっかい。